

## ジンコソーラーが SMBC 幹事の日本の銀行コンソーシアムと 53 億円の シンジケートローン契約に調印

7 月 2 日、世界をリードする太陽光発電会社ジンコソーラー (JinkoSolar Holding Co., Ltd.、NYSE: JKS、以下「ジンコソーラー」または「同社」) は、同社の子会社、ジンコソーラージャパン株式会社 (JinkoSolar Japan K.K.、以下「ジンコソーラージャパン」) は三井住友銀行 (SMBC) が幹事を務める銀行コンソーシアムとの間で最大期間 2 年総額 53 億円のシンジケートローン契約に調印したと発表した。今回の融資はジンコソーラージャパンの業務の拡大と運転資金の拡充に当てられる。

これは三井住友銀行によるジンコソーラージャパンへのシンジケートローンは、2016 年 (20 億円)、2017 年 (41 億円) に続いて 3 回目になる。「SMBC と再び協力できて、そして、融資額を上回ったことを喜んでいきます。これは日本知名な商業銀行がジンコソーラーのブランドと業務において、信頼と認可を持っていることを示したと思っています。我々は会社の業務をさらに拡大することや、SMBC と他の地方銀行の関係を深めることを期待しています。」とジンコソーラーのチャーリー・カオ最高財務責任者 (CFO) 曹チャーリーさんがコメントした。

2018 年 3 月 31 日時点で、ジンコソーラーは中国、米国、日本、ドイツ、英国、チリ、南アフリカ、インド、メキシコ、ブラジル、アラブ首長国連邦 (UAE)、イタリア、スペイン、フランス、ベルギー、その他の諸国地域にあるさまざまな公益、商業、居住区顧客基盤に対し、自社ソーラー製品を供給し、自社ソリューションとサービスを提供、販売している。そして、垂直統合ソーラー製品バリューチェーンを構築して、シリコンインゴットとウエハーで 9.0GW、太陽電池で 5.0GW、太陽光発電モジュールで 9.0GW 年産規模を持つ。